

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-46624(P2000-46624A)

【公開日】平成12年2月18日(2000.2.18)

【出願番号】特願平10-215540

【国際特許分類第7版】

G 01 F 23/00

G 01 F 23/26

G 01 N 35/00

G 01 N 35/10

【F I】

G 01 F 23/00 A

G 01 F 23/26 A

G 01 N 35/00 C

G 01 N 35/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月25日(2005.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器に入った液体を採取する液体採取手段と、その容器中の液面位置を検知する液面位置検知手段と、採取する液体の入った容器種類を入力する容器種類入力手段と、各容器種類における液面位置と残液量との関係式を記憶する関係式記憶手段とを備え、液面検知手段により検知された液面位置と、容器種類入力手段により入力された容器種類に対応する前記関係式と、により容器内の残液量を検出することを特徴とする分析装置。

【請求項2】

液体採取手段により容器より採取される液体採取量と液面位置検知手段により検知される容器中の液面位置とより、その容器における液面位置と残液量との関係式を算出する関係式算出手段を備え、この関係式算出手段により算出された関係式と、容器種類入力手段により入力された容器種類と、液面位置検知手段により検知された液面位置と、により容器内の残液量を検出することを特徴とする請求項1記載の分析装置。

【請求項3】

容器に液体を分注する液体供給手段を備え、この液体供給手段により容器に液体を供給して、前記液面位置と残液量との関係式を算出する機能を備えたことを特徴とする請求項1記載の分析装置。

【請求項4】

液体採取手段により採取された液体採取量と液面検知手段により検知された液体採取前後の液面位置との関係が、残液量を検出する関係式を満たしているか否かを判別する判別手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の分析装置。

【請求項5】

液体採取手段により採取された液体採取量と液面検知手段により検知された液体採取前後の液面位置との関係が、残液量を検出する関係式を満たしていない際に、前記液体採取量と前記液面位置との関係に一致するように、前記関係式を補正する演算機能を備えたこと

を特徴とする請求項 4 記載の分析装置。